

長崎 バス紀行

2023



たびぶたい・のりもの塾

山を走る

東西を山に阻まれた長崎の市街地。そんな街の通勤や通学を支えるため、長崎のバスはその山々を乗り越えます。全ては山を超えた先にある団地、集落のため。狭い山道を大型車で突き進む路線が非常に多い(ほとんど?)というのも、長崎のバスの大きな特徴でしょう。





千々 大波止 愛宕町 10

N 1815

長崎 22 31-61

外科
整形外科
内科
皮膚科
山田医院
836-1115
千々町



海を走る

長い海岸線を持つ長崎市では、美しい海をバックに走るバスを楽しめます。また、坂の街ならではの海に面する断崖を高出力仕様のバスが力強く駆け上がっていくのもまた、長崎ならではの風情と言えるでしょう。風光明媚な漁村も多くあり、撮影にもオススメです。





ISUZU

1729

長

ISUZU 4000cc 4000cc 4000cc

街を走る

坂の街、長崎。市街地にも多くの坂が存在します。トリコロール、真っ赤な車体。二社の織り成すバスのある長崎の街の風景は独特の雰囲気があります。郊外の商店街の中を走る、さいかい交通（長崎バスグループ）。坂や路面電車の軌道入り組む街をバスは走ります。





雪印牛乳
中野
0959-24

メグミルク
中野商店

ISUZU
2108
674
梅の里
道の駅
梅の里
道の駅

梅の里

Enjoy!

長崎を走る。

長崎市内・乗合バス
事業者名鑑





網場・春日車庫
入坂止 港/土/小/旅館



ISUZU

S652



ノンステップバス



長崎200
が 10-66

長崎バス

正式名称：長崎自動車株式会社

長崎市内では主に、長崎市中
心部、南部、西部、北部の市
民の足として親しまれていま
す。原爆の惨禍を乗り越え復
興した街に輝く、トリコロー
ルカラー。市民の間では「長
バス」とも呼ばれています。





長崎県営バス

正式名称：長崎県交通局

長崎市内では主に長崎市中心部、東部を支えています。発祥の地を雲仙にもち、現在では日本で唯一の「県営バス」にして、唯一県外高速バスを運行する事業者として知られています。スクールバスとして、滑石地区にも乗入れれます。





新大工町整骨院

四季

長崎を走る。





立山・浜平

止機下
大平



29-64

春

長崎の春、立山公園や出島、市内各所で美しい桜を楽しむことができます。吹雪く桜を巻き上げる、坂に鍛えられた名車の数々……。ロマンの街には独特の風情があります。





Oil Change

1. 100% 純正エンジンオイル	2. 100% 純正エンジンオイル
3. 100% 純正エンジンオイル	4. 100% 純正エンジンオイル
5. 100% 純正エンジンオイル	6. 100% 純正エンジンオイル
7. 100% 純正エンジンオイル	8. 100% 純正エンジンオイル
9. 100% 純正エンジンオイル	10. 100% 純正エンジンオイル
11. 100% 純正エンジンオイル	12. 100% 純正エンジンオイル
13. 100% 純正エンジンオイル	14. 100% 純正エンジンオイル
15. 100% 純正エンジンオイル	16. 100% 純正エンジンオイル
17. 100% 純正エンジンオイル	18. 100% 純正エンジンオイル
19. 100% 純正エンジンオイル	20. 100% 純正エンジンオイル

正社員

OA20



夏

長崎の夏、海に囲まれたこの街は、たくさんの海水浴場がございます。夏の思い出の名脇役を務める、バス。日本一海が似合うバスと、言っても過言ではないでしょう。





肉屋'ウタナベ'商店
メルカ菜町うら 0824-0561

1536

長崎バス

28-8

長崎バスは、安全運転にて
運行しております。
ご協力ありがとうございます。

秋

この街の秋、夏の盛りを忘れたかのように、どこか寂しい凍えるような海がこの街を囲みます。





マリン水族館 馬場
潮見町 休東長崎

1308

ISUZU

長崎200
845



冬

冬の長崎は時に、大雪に見舞われます。坂の街の自動車に、大雪は大敵。そんな中早朝から従事する方々の尽力により、タイヤに巻かれたチェーンの音が、凍りついた街に響き渡ります。





住宅型有料老人ホーム
スマイルライフ
ケアビルド
すまいる

アシスト介護福祉
リハビリステーション
☎ 095-832-0780
アクトアアシスト
〒951-8502 新潟県新潟市東区
TEL 095183718196



長崎燈會





ISUZU

NBA
バス
全乗車

長 崎 バ ス

1610

出口

NBA
バス
全乗車



あなたの介護を、
教えてください。



長崎県

NAGASAKI BUS

入口

OLD FLAG SHIPS

この街を駆ける車両図鑑



長崎バス いすゞキュービック ツーステップバス

長崎のバスといえばこれ、銀色のキュービック。一九九五年に誕生した、路線バスとして前代未聞のブイハチエンジン搭載車、スノー規制のいすゞ、キュービック。長崎バスではさらに、全車高馬力仕様で購入されています。まさに坂の街に耐えうるための特別仕様と言えるでしょう。

各方面からの評判もよく、同じエンジンを搭載した車両は現在で一七〇台ほどが現役です。反対車線にいても聞こえる重低音、長崎の街の風物詩です。



長崎バス いすゞキュービック ワンステップバス

この車両が長崎バス初めてのワンステップバスになりました。車体カラーもニュアール。かつての銀ベースのものから白ベースのものに変更、座席は全車凸型のはいバックシートに変更、床材も今までの木製の床、通路部分だけは緑のビニールの組み合わせをやめ、全面ビニール張りとし、車内の印象も明るくなりました。一九九九年、二〇〇〇年の二年間のみ購入、年式により入り口ドアの塗り分けが異なっていたり、車椅子が乗れなかったりと、個性的なワンステップ車両です。



長崎バス 日野ブルーリボン ワンステップバス

二〇〇〇年に三台のみ購入されました。この車種においても高出力仕様は同様で、標準的なエンジンよりも約三〇〇〇cc大きいエンジンが搭載されています。キュービックストップバス・ワンステップバスと異なり、ブルーリボンではステップ数で前項が変わることはなく、代わりに窓が下方に拡大されています。上下に真つ二つに割った逆字窓は、遠くからでも特徴的な雰囲気醸し出しています。四〇〇七号車が二月に離脱、いよいよ残り二台となりました。



長崎バス 西工58MC

長崎名物、銀色の前後ドアの58。

鉄仮面のような存在感あふれる前面にシル

バートリコロールは他のバスにはない独特な

雰囲気醸し出しています。一九八五年にふ

そうで導入、途中空白を挟みながらもほとん

どの年で購入されています。3メーカー、ホ

ールベースのバリエーションも複数あつ

た長崎バスのこのモデルですが、現在ではい

すゞの58×最末期のブイハチエンジン搭載の

組み合わせが残存しています。長崎市内を走

行する車両はラスト五台となりました。



長崎バス

日野×西工 96MC

ワンステップバス

二〇〇〇年に三台のみ購入されました。この車種においても高出力仕様は同様で、標準的なエンジンよりも約三〇〇〇cc大きいエンジンが搭載されています。さらに西工架装車で、は全長一〇・九メートルの長尺仕様で導入、さらに他の同社のワンステップバスと同様エアサスで導入されました。このシャーシ、エンジンと車体の組み合わせは世界でもここだけであり、もちろん日本で唯一長崎で見ることのできる車両です。



長崎バス

いすゞ×西工96MC

ツーステップバス

いすゞブイハチ・キュービックの西工架装版です。なんと最拡大窓でも二段サッシを貫きました。一九九七年前期導入を除いて、ローニ（フロントガラス下のラインに段差がある）仕様で購入されています。年式、さらには前期導入車と後期導入車で赤帯の取り回しが異なり、そういった点でも面白い車両です。九七年前期導入車のみ青バンパーでしたが、現在は教習車の一七〇四、五号車のみ原色で残存します。シルバートリコロールとガンメタバンパーの組み合わせは上品な存在感を醸し出しています。



長崎バス

日野×西工 96MC

ツーステップバス

。この車種においても高出力仕様は同様で、標準的なエンジンよりも約三〇〇〇cc大きいエンジンが搭載されています。さらに全長一〇・九メートルの長尺仕様で導入、一一メートル級のシルバートリコロールは圧巻の雰囲気です。時津、滑石団地内のドル箱路線用に購入された同社でしたが、現在ではほとんどの車両が離脱、長崎市内では時津営業所から三八一一号車、三九〇一号車のみ長崎市内で運行^マされています。幅の揃えられた銀サッシは完成日を感じます。



長崎バス

ふそう×西工96MC

ツーステップバス

一九九九年から突如、再び毎年ふそうの路線バスが購入されました。（二〇〇三年以降再び現在に至るまで導入なし）さらに西工架装車両は全てツーステップバスでは短尺で導入されました。

一九九九年に一台だけ導入された西工ふそう、五九〇六号車はロッド式のシフトに板バネ、ノクターボで導入されましたが、二〇〇〇年に導入された三台ではフィンガーシフト、ターボエンジンで購入されており、フロントバンパーの意匠が若干異なります。旧田上営業所所属のこのグループは一台が松ケ枝、それ以外は神の島



長崎バス

ふそうエアロスター

ツーステップバス

長崎バスのツーステップバスで初めて二段サッシをやめ、フィンガーシフトまで採用した車両です。さらに全車がハイバックシートを採用し、シルバートリコロールを纏う当時最新鋭の車体は一種スーパーカーのような洗練された雰囲気を感じられます。しかしながら一九九九年式のグループでは引き続き座席の下の部分は板張り板バネの仕様を残しており、長崎バスらしさも感じられます。九九年後期からターボエンジン、二〇〇〇年式からエアサスに変更。年式によってブラックアウトの面積が広がるなど、バリエーションに富む隠れた車種です。



長崎バス 元・佐世保急行車

長崎市内で抜群の存在感を放つ車両です。第一印象は「なんか違う」。二〇〇〇年にいすゞ、ふそう、日野で各二台ずつ導入されました。当初長崎〜佐世保間の西海橋経由の急行バスや、長崎〜瀬戸、長崎〜バイオパーク・オランダ村の特急バスで使用されましたが、急行系統が導入翌年に廃止、現在は豪華仕様ながら一般路線バスで活躍しています。真四角の大きなハイバックシートが並ぶ車内や、ダイナミックな色使いのトリコロールは、他のどの車両にもない、大型車らしい堂々たる雰囲気です。



長崎県営バス

8Aブルーリボン

ツーステップバス

県営バスの平成八年式のうち、純正ブルーリボンのみ前時代の内装の雰囲気の色濃く残しています。車内はそれ以前の年式に多く見られた赤系のモケットを採用、スピーカーはナショナルの旧型スピーカーを採用しています。さらに極め付けは、九十五年以降長崎バスではブルーリボンに関しては全ての車両でビルトインクーラーで購入されましたが、県営バスではこの車両もエバポレーターを屋根上に積載しています。8A15号車が長与営業所に在籍し、最後の一台として活躍しています。



長崎県営バス

西工58MC×日野

いよいよ長崎県営バス最後の58MCのラスト
二台となりました。≒10ccエンジンを搭載、
独特の甲高いサウンドを長崎の街に響かせま
す。8>18号車の車内ではドラム式の「つ
ぎ・止まります」表示器が現役で稼働中です。
車内は進行方向右側は全席2列シート、車内
全ての座席がハイバックシートとなっていま
す。両方の車両が長与営業所に所属、西山循
環線や女の都く中央橋・西山木場線で稼働す
る姿が見られます。稼働率はそんなに高くな
く、長崎の秘宝とも言える車両です。



長崎県営バス 三菱エアロスターM ツーステップバス

長崎市内を走る最後のエアロスターMの二台です。二台とも長崎営業所に在籍し、立神・長崎駅前〜経済学部前経由立山・浜平線に投入されています。柔和な曲線と直線の組み合わせ、クラシカルな丸型ライトは独特な雰囲気醸し出しています。当初西山循環専用車として採用され、他の車両とは異なり直結ギアで購入されており、西山東部からの急な坂を力強く駆け上がっていきます。テールライトはスタンレーの三連テールで、クーラーは長崎バスの現役のふそうと同じ三菱重工製、長崎らしい一台です。

